

1. R9年度整備必要数51人(2歳児28人、3歳児23人)に対する対応方針案

＜対応策の検討順序＞

- (1) 既存公私立園の利用定員までの受入・弾力運用
- (2) 既存公私立園における利用定員拡大
（既存私立園の増改築・分園整備）
- (3) 公募による新設園の整備

＜2歳児(28人)の確保方策＞…詳細は下表

- (2) 既存私立園の増改築・分園整備
+ その他施設整備（小規模保育施設等）の継続検討

＜3歳児(23人)の確保方策＞

- (2) 既存公私立園の利用定員増

R 6 年 1 1 月に、既存私立園への保育定員増に関する意向調査を実施。

＜意向調査・結果＞

- R 7 年 4 月～ + 5 人 （保育定員調整）
- R 8 年 4 月～ + 10 人 （保育定員増・教育定員減）
- R 9 年 4 月～ + 41 人 （分園整備・本園保育定員増）

2. 2歳児(28人)の確保方策

＜整備概要＞

- R 6 年 1 1 月に実施した既存私立園への保育定員増に関する意向調査の結果を受け、R 8 年度事業として整備可能なものは事業化を推進する予定。

	分園整備	その他施設整備（小規模保育施設等）の継続検討
事業者	社会福祉法人みどり（みどり保育園）	公募により選考（小規模整備の場合）
定員拡大	41人（分園+20人、本園+21人） ※0歳児6人、1歳児7人、 2歳児7人 ：分園整備 3歳児7人 、4歳児7人、5歳児7人：本園定員拡大	19人 ※0歳児3人、1歳児8人、 2歳児8人
費用(概算)	178,599千円（国2/3、市5/24、事業者1/8） ※分園整備(0～2歳児)に係る費用	27,193千円（国2/3、市5/24、事業者1/8）

＜2歳児の確保方策＞

- 必要数28人に対して**15人**の整備。
- 不足する13人分は、0～2歳児の間
で柔軟に受入れ対応を行う。

＜3歳児の確保方策＞

- 本園の定員拡大により**7人**の定員拡大。

＜今後のスケジュール＞

- 分園整備については、国の交付申請を踏まえた整備スケジュールの関係上、整備年度の前年度に事前協議や審査会付議等の準備行為を行う必要がある。（★）
- その他施設整備として小規模保育施設等の整備については実施の必要性について継続して検討を行う。

	R7	R8	R9
	11月 12月 1月 2月 3月	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	4月
分園整備	R7.11-12 審査会★ R7.11頃～ 開発協議等	R8.1-2 国県調整 R8.4 国内示 R8.5頃～ 実施設計・工事・開園準備 R8.10～ 次年度入所申込開始	R9.4 開園